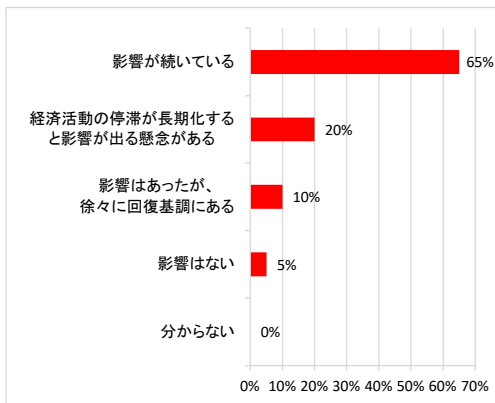


【2020年7月実施 新型コロナウイルスの影響に関するアンケート集計結果】

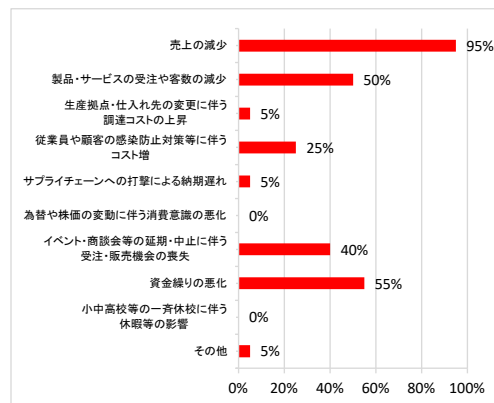
◆◆ サービス業 ◆◆

新型コロナウイルスによる経営への影響はありますか？



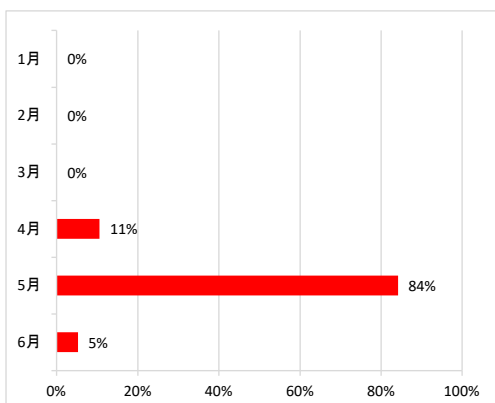
「影響が続いている」が65%一番多く回答しており、続いて「経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある」が20%となっている。

具体的にどのような影響を受けましたか？



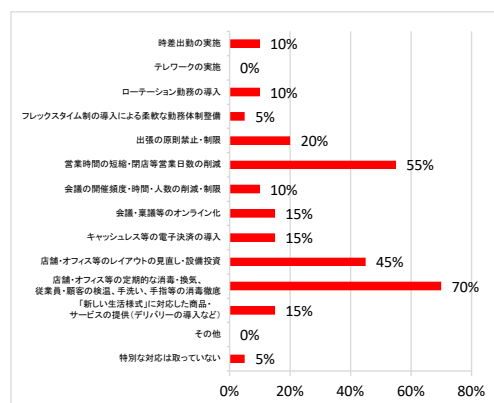
「売上の減少」が95%と一番多く回答しており、続いて「資金繰りの悪化」が55%、「製品・サービスの受注や客数の減少」が50%となっている。

一番影響を受けた月は何月ですか？



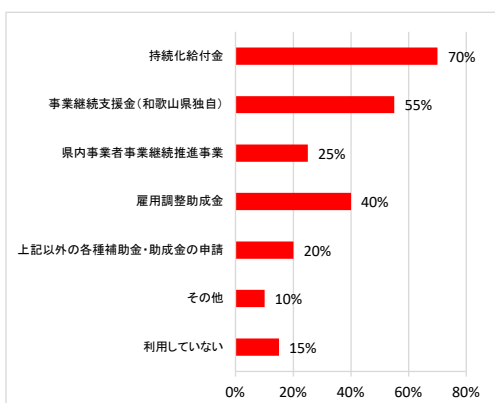
「5月」が84%と多くの事業所が5月に一番影響を受けている。

感染を防ぐために貴社で行った対策はありますか？



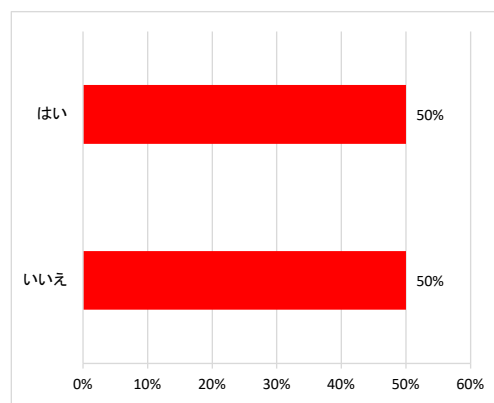
「店舗・オフィス等の定期的な消毒・換気、従業員・顧客の検温、手洗い、手指等の消毒徹底」が70%と一番多く回答しており、続いて「営業時間の短縮・閉店等営業日数の削減」が55%となっている。

新型コロナウイルスに係る支援策を利用されましたか？



「持続化給付金」が70%、「事業継続支援金(和歌山県独自)」が55%、「雇用調整助成金」が40%といった利用状況となっている。

新型コロナウイルスに係る融資制度(「日本政策金融公庫による新型コロナウイルス感染症特別貸付」や「セーフティネット貸付・保証」など)を利用されましたか？



新型コロナウイルスに係る融資制度については50%の事業所が利用している。